

きん た か や ま 金鷹山

若宮八幡社は、寛和元年(985)御創建以来、本年1,040年を迎えた

令和7年(2025)12月1日発刊

通巻第25号

発行所 若宮八幡社社務所
〒873-0004
大分県杵築市大字宮司336番地
発行者 宮司 紀田兼宣
電 話 080(5503)3488

金鷹山 若宮八幡社 検索

神社公式ホームページ開設しております。御覧ください。
Instagramはじめました。御覧ください。

祝祭日には国旗を掲揚致しましょう



みさき神楽

社報「金鷹山」第二十五号の目次

- ◆一頁 例大祭の予告・神賑行事のご案内
- ◆二頁 奉斎会への人会方法 観月祭奉斎行の報告
仲秋祭・大分県無形民俗文化財「若宮楽」の報告
きつき城下町短歌会により物集顕彰特別賞決まる
紀元祭のお知らせ
- ◆三頁 例大祭の予告
年越大祓斎行のお知らせ
新嘗祭に奉納のお勧め 七五三詣の承り
（仮称）杏鷹会の発足について 編集後記
- ◆四頁 正月初詣祈願のお勧めと
神宮大麻・お札・お守りの頒布

大分県無形民俗文化財 令和8年御田植祭の 奉仕者を募集します

記

○募集内容

若宮八幡社『御田植祭』(4月)早乙女の奉仕者
・小学校6年生までの女の子
※御田植祭の奉仕者が集まりましたら、祭典前に
数回の練習会を行いますので、ご参加ください

○問合せ先

金鷹山若宮八幡社
宮司 紀田兼宣(きだ かねのぶ)
電話 0978(62)3148(若宮八幡社)



れい たい さい 例大祭の予告

12月6日(土)

午前 9時 例大祭
(御創建1,040年式年大祭)
午前10時 神輿出御
(お下り)
午後 1時 みさき神楽
(若宮広場の御旅所にて)

12月7日(日)

午後 1時 斗初穂奉納奉告祭
午後 3時 神輿出御(お上り)

しん しん 神賑行事のご案内

12月6日(土)

池坊別府支部奉納 生け花展示
(宮司区公民館)

12月7日(日)

池坊別府支部奉納 生け花展示
(宮司区公民館)
例大祭神賑弓道大会
(杵築市営弓道場)

ゲートボール大会

去る十月四日(土)の夕闇の中、若宮八幡社奉斎会の主催による「観月祭」が斎行され、神楽や雅楽を神様に奉り、御心をお慰め申し上げますと共に、参列者も平安時代のような空間に暫し身を置き、ゆったりとしたひと時を堪能になりました。

観月祭に向けて、大分県神社庁の雅楽講師である紀田宮司の指導の下、氏子の方で雅楽の修練希望者を募り、月に2回若宮八幡社に於いて研鑽に励んで参りました。

また今回は、神楽「浦安の舞」が、市内双子の中学生により奉納されましたこと、修練生一同に対し敬意を表し、厚く感謝申し上げます。

この雅楽練成会は、どなたでも受講できますので、興味ある方は一度見学に来られますことをお勧め致します。

※受講料なし・個別指導も可



浦安の舞

奉斎会だより

奉斎会の主催で恒例の観月祭を斎行
神楽『浦安の舞』と雅楽を神様に奉納演奏

奉斎会への入会方法

- ① 公式HP「金鷹山 若宮八幡社」で検索の上、『奉斎会』項目の中の『入会申込票』をダウンロードして、お名前・住所等を入力して申込み戴けます
- ② 社頭でも『入会のお勧め資料』を常時配布しております
- ③ 若宮八幡社にお電話くだされば、直接入会一式資料をお届け致します

若宮八幡社奉斎会

入会申込票

令和 年 月 日

芳名	(姓)	(名)
生年月日	大正 昭和 平成 令和 年 月 日	生まれ
会社名		
設立日	大正 昭和 平成 令和 年 月 日	設立
住所	〒 - 都道府県 市区 番地【マンション名等】	
連絡先	電話 - - / mail @	
お届け先	☐ ご自宅 ☐ 会社 ☐ その他()	
会員種別	☐ 正会員(年会費5,000円) ☐ 家族会員(年会費2,000円)	
事務局欄	領収書	PC入力
	会員証	芳名録
	年会費	

送信先 FAX 0978-69-7035 (宮司携帯 080-5503-3488)

紀元祭のお知らせ

日時 令和8年2月11日(水)午前11時
場所 若宮八幡社本殿に於いて
案内 関係各位には事前にご案内申し上げますが一般の方もご参列戴けます
附記 ●玉串料は不要です(無料)
●神事に於いて、『国歌斉唱』・『聖寿万歳』・『紀元節奉唱』がありますのでお含み置き下さい
●「紀元祭」とは、初代神武天皇が奈良県の橿原に於いてご即位になられた日を寿ぐ神事です



神武天皇

祭典唱歌『紀元節』
雲に聳ゆる高千穂の
高嶺おろしに草も木も
なびきふしけん大御代を
仰ぐ今日こそ楽しけれ



若宮楽

仲秋祭の斎行と若宮楽の奉納

若宮楽保存会の指導のもと夏休みに練習会を実施

九月十四日(日)午前の仲秋祭に続き、午後には大分県無形民俗文化財「若宮楽」が、十三名の子供さんにより奉納されました。保存会会長の小春稔氏ほかのご指導の下、無事に奉納戴きましたこと厚くお礼申し上げます。



奉納後にみんなで集合写真



きつき城下町短歌会奉納 献詠歌

仲秋祭に併せて、「物集家顕彰 第十八回きつき城下町短歌大会」の報告も行われました。この短歌会(阿部尚子会長)は、伊勢方信師以下七名の選者により短歌の評を行うもので、大分県内外から七五首の応募があり、左記の短歌が最優秀賞に選ばれました。

物集顕彰特別賞
大分市 池辺英子

ふるさとのなまり微かに
残っている医師の声にて
番号よばるる

十二月六日と七日に例大祭を斎行します

併せて御創建一〇四〇年式年大祭も行います

来る十二月六日(土)及び七日(日)の2日間に亘り、若宮八幡社の最重要儀である「例大祭」が斎行されます。

本年は、御創建からの節目の年でもありますので、特に「御創建一〇四〇年式年大祭」の主旨のもと神輿の巡行を行います。

以前は、牛馬市なども若宮広場で催されておりましたので、十年後の「御創建一〇五〇年式年大祭」の折りには、往古を偲ぶイベントも取り進めて参ります。



池坊による生け花展



みさき神楽



例大祭奉納 弓道大会

〔池坊別府支部奉納〕
生け花展示(六日・七日)
若宮広場・宮司区公民館にて

〔例大祭神賑 弓道大会〕
十二月七日(日)終日
杵築市宮弓道場にて

〔みさき神楽の承り〕
十二月六日(土)午後
一五〇〇円にて承ります
芳名を祝詞奏上し、荒神杖をお頒ちします
申込みは 若宮八幡社
社務所までご連絡下さい



往古を偲ぶ牛馬市



御旅所での巫女舞

新嘗祭に お供え物を 奉納しませんか?

記

◇ 神 事 ◇

新嘗祭(にいなめさい)
秋の収穫に感謝申し上げる神事です

◇ 奉 納 ◇

お米・野菜・果物・その他承ります

◇ 締 切 ◇

11月23日(日・勤労感謝の日)まで承ります

◇ 対 応 ◇

奉納者の芳名を社報「金鷹山第26号」
(令和8年4月1日刊行)でご報告致します



七五三詣 祈願申し込みを承ります

記

◆日 程 年末まで承ります

◆祈願料 5,000円也

◆お下がり お名前を揮毫した
神札・お守り・千歳飴ほか

◆ 祈 願

※毎日午前9時～午後5時までの承り

※上記時間内で30分ごと

※貴家の方の祈願です
(完全入れ替え制です)

※一緒に諸祈願もお申込み戴けます

※予約制ですので事前のお申し込みを
お願いします

◆その他 11月23日(日・勤労感謝の日)の午前は
『新嘗祭』が斎行されますので、午後
のみ承ります



令和7年の罪や穢れをお祓いして
清々しいお正月をお迎えしませんか?

年越大祓のご案内

記

○日時処 12月31日(水) 午後3時
若宮八幡社の齋庭

○主 旨 令和7年の一年間に知らないうちに
積もりに積もった罪や穢れを、
紙で作った形代(人形)に託して
清らかになった身を以て、
令和8年の新年をお迎え戴きます

○申込み ※予約等は不要です(参列無料)

○照会先 若宮八幡社社務所
電話 0978(62)3148 まで



年越大祓



大祓人形・車形



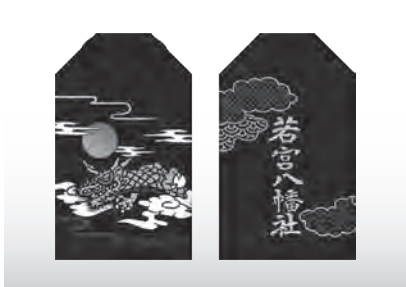
朱印帳



カード守



朱印帳袋



宝石守

令和8年厄年一覧

男 性				女 性			
数え歳	前厄	本厄	後厄	数え歳	前厄	本厄	後厄
25歳	24歳 平成15年 2003年 未	25歳 平成14年 2002年 午	26歳 平成13年 2001年 巳	19歳	18歳 平成21年 2009年 丑	19歳 平成20年 2008年 子	20歳 平成19年 2007年 亥
42歳	41歳 昭和61年 1986年 寅	42歳 昭和60年 1985年 丑	43歳 昭和59年 1984年 子	33歳	32歳 平成7年 1995年 亥	33歳 平成6年 1994年 戌	34歳 平成5年 1993年 酉
61歳	60歳 昭和42年 1967年 未	61歳 昭和41年 1966年 午	62歳 昭和40年 1965年 巳	37歳	36歳 平成3年 1991年 未	37歳 平成2年 1990年 午	38歳 平成元年・昭和64年 1989年 巳



神宮大麻



神棚(写真借用 神宮司庁)

令和八年の正月を迎えて

新年初祈願の勧奨と神宮大麻の頒布について

【令和8年 新年初祈願祭のお勧め】

新年の初祈願祭を左記にて承ります。

① 諸祈願祭

- ・ 家内安全、交通安全、商売繁盛
- ・ 安産成就、初宮詣、その他
- ・ 厄年は左下の一覧表を参考下さい

② 追儺祈願(おにやらい)

- ・ 2月の中旬まで承ります
- ・ 祈願の後、節分のように豆撒ぎを行い、追儺板を叩きます

【お札・お守り 頒布のお知らせ】

新年をお迎えするに当たり、神棚のお札を新しく差し替えましょう。

大麻と言ひ、三重県の伊勢神宮のお札を全国の神社でお頒ちしております。

(※神宮大麻…初穂料 1体千円也)

そのほか、各種のお札やお守りをご用意の上、氏子崇敬者の正月初詣を神社関係者一同心よりお待ち申し上げます。

境内の末社・和漢将軍社のご祭神 木付親重公を顕彰する

「杏鷹会」へ入会のお勧め

境内の末社・和漢将軍社では、毎年命日である旧暦の2月18日に命日祭を斎行しており、本年は3月17日(月)に斎行致しました。10年後の令和17年度に、御創建1050年を迎えるに合わせて、和漢将軍社750年式年大祭を斎行致し度、その為、(仮称)『杏鷹会』を組織し活動してまいります。名称の由来としては、木付氏の家紋である「杏葉」(ぎょうよう)と、金鷹山の「鷹」をもとに考案しました。

当面の間は、年に一度の命日祭を斎行することを主たる目的としますが、10年かけて750年式年大祭への諸準備を取り進めてまいりますので、参画戴ける方の募集を広く行います。

特に木付家の末裔の方や、木付氏の歴史に興味のある方には、当方からもお声掛けをさせていただきますのでお含み置き下さい。



境内の末社 和漢将軍社

編集後記 紀田宮司のつぶやき

◆昭和二十年八月九日、当時十六歳だった兼昭少年(第三十三代宮司兼昭大人命)は、学徒動員で小倉の工場に居た◆本来、その小倉に投下される予定の原子爆弾は当日の天候不良により長崎県へ変更された◆『本当だったら僕も前も此処にいなかったぞ!』と、ことあるごとに言うのが、亡き父親からの言の葉であった◆今は子供や孫を授かった身としては、運命を感じると共に先の大戦で失われた無辜の人々への慰霊の念を抱き続けなくては…と思ひ知らされる日々である◆昭和百年を回顧する為に、「昭和天皇実録」を日々拝読している◆実録のみでは読み解けないので、併せて漫画「昭和天皇物語」を併用している◆漫画の方は、現在大東亜戦争が始まった昭和十六年から終戦を翌年にした昭和十九年が掲載されており、「実録」と「物語」を併読することにより、より先の大戦のことが伝わってくる◆そして「実録」の昭和二十年を拝読するに、八月九日(木)の閣議に於いて午前十一時三十分長崎に「新型原子爆弾」が投下されたことが報告され◆八月十四日(火)の御前会議に於いて、戦争終結の「御聖断」を賜り、「終戦の詔書」のご朗読録音◆八月十五日(水)

正午からの玉音放送を御自ら御聴取◆九月二日(日)横須賀沖合に停泊の米国軍艦ミズリ号艦上に於いて降伏文書の調印式に、全権重光葵外務大臣・同梅津美治郎参謀総長が参列◆九月三日(月)戦争終結につき宮中三殿に親告の儀、勅使を神宮(伊勢神宮)、神武天皇陵・明治天皇陵ほかに御差遣◆十一月十二日(月)からは、陛下御自ら神宮(伊勢神宮)及び山陵に戦争終結をご奉告のため行幸…などがこと細かく記載されている◆去る八月には猪瀬直樹氏著作の「昭和十六年夏の敗戦」を原作とするNHKドラマ「シミュレーション」が2日間に亘り放送された◆ドラマと言つても史実に基づいた話で、若手官僚らで組織された「模擬内閣」が検討した結果、大東亜戦争は「必敗」とする結論が出たにもかかわらず、当時の「現実内閣」は、戦争に突入してしまい、その結果は言うまでもないことである◆昭和百年(戦争終結八十年)を振り返るに、その歴史から学ぶべきことは多々あるものの、この度昭和天皇の御后であられる香淳皇后の記録集である「香淳皇后実録」が宮内庁による十七年間に亘る編纂が終了し、天皇皇后両陛下に奉呈されたニュースを聞き、是非拝読させて戴き、歴史を学ぶ道標としたいと思うばかりである。(宮司謹記)